

平成 28 年度 2 年目看護師・臨床工学技士事例発表会

当院で毎年行われている事例発表会があり、入職から2年間の、日々の看護や業務の学びをまとめ発表に臨みました。
事例研究発表を終えて、感想を聞いてみました。



「水分制限が守れない透析患者との関わりを通して」
看護師 Mさん
身についた食生活を変化させる難しさを学んだ。今後は家族にもかかわってもらえるよう看護していきたい。



「ASO患者の予防的フットケアを行って」
看護師 Iさん
フットケアを行って、効果を得ることができ、改めてフットケアの重要性を感じました。今後も足病変の早期発見に努めていきたいです。



「きっかけの言葉から始まる効果的な人間関係」
看護師 Tさん
今回の事例発表を通して、他病棟の方の取り組みや患者さんとの関わり方を聞き、勉強になりました。学びを活かし向上できるように頑張りたいです。



「外来透析患者の家族との連携」～連絡ノートを活用した排便コントロール～
看護師 Oさん
患者様とその家族としっかり向き合うことが出来た。今後も患者様と家族に寄り添った看護を続けていきたい。



「身体拘束をから学んだこと」
臨床工学技士 Yさん
患者様の安全と苦痛の緩和について倫理的に考えることができ、勉強になりました。



発表、お疲れさまでした (*^_^*)